

8 / 24 (火) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 8月24日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和3年度科学の甲子園ジュニア北海道大会の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道教委では、毎年、中学校の生徒の科学への興味関心を広げるとともに、探究心や創造性を高めるために、「科学の甲子園ジュニア北海道大会」を実施している。</p> <p>本大会は、中学第1、2学年の生徒3名が1チームとなり、理科、数学等における複数分野の筆記競技に取り組むものである。</p> <p>例年、本大会は各地域の会場に集合し、競技を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、8月25日(水)から9月1日(水)までの期間、各学校で競技を実施する。</p> <p>なお、本大会の優勝、準優勝チームは、12月上旬に兵庫県姫路市で開催される全国大会へ出場する。</p> <p>今年度、宗谷管内では、稚内市内の中学校から4チームが出場する予定である。</p> <p>取材が必要な場合は、稚内市教育委員会及び教育局へ連絡をお願いします。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	宗谷教育局 教育支援課長 千代 隆志 TEL ダイヤルイン0162-33-3740 (内線3200) 教育支援課 教育支援係長 山田 健太郎 TEL ダイヤルイン0162-33-3750 (内線3212)		
-------------	---	--	--

令和3年度科学の甲子園ジュニア北海道大会実施要項

1 目的

科学の甲子園ジュニア北海道大会は、中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程（以下、「中学校等」という。）の生徒が、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することにより、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。

2 主催

北海道教育委員会

3 共催

札幌市教育委員会、北海道中学校理科教育研究会、北海道算数数学教育会

4 期間

令和3年(2021年)8月25日(水)～9月1日(水)

※学校ごとに実施日を1日設定し、放課後等の時間を活用して実施する。

5 会場

各中学校会場

6 出場資格

(1) 出場チームは、中学1、2年生の生徒（義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒）で構成すること。

(2) 出場チームは生徒3名で編成し、原則同一の中学校等に在籍する生徒で編成すること。

また、1校から複数のチームが参加することは差し支えない。

なお、中学1、2年生の在籍生徒数が3名未満の中学校等については、近隣の中学校等に在籍する生徒と合同でチームを編成することも可能とする。

(3) 当日、チーム内で欠席者が出た場合は、2名以下で参加することも可能とする。

(4) 生徒が在籍する中学校等の教員が運営・監督を行うこと。

7 競技方法等

- ・チームで協力して筆記競技（60分間）に取り組み、正答数により全道の順位を決定する。
※解答は、Googleフォームを活用する。（Googleフォームが使用できない学校については、郵送により対応）
- ・優勝チーム、準優勝チームで6名1チームを編成し、令和3年(2021年)12月3日(金)～5日(日)に兵庫県姫路市内で開催される全国大会へ派遣する。
- ・優勝チームが同点で2チームある場合は、2チームで編成し、3チーム以上ある場合は抽選により2チームを選出する。また、優勝チームが1チームで、準優勝チームが同点で2チーム以上ある場合は準優勝チームを抽選により選出する。
- ・全国大会出場チームの選手及び引率教員2名の旅費は、科学技術振興機構（JST）が支給する。

8 競技で必要な持ち物

筆記用具、消しゴム、直線定規、電卓 ※実施校にて準備願います。

9 表彰（同点の場合は複数のチームを表彰）

優勝：1チーム、準優勝：1チーム、3位：1チーム

※同点の場合は、複数チームとなることもある。

10 応募方法

学校長の推薦を受けて、別添の応募用紙を各教育局教育支援課教育支援係又は札幌市教育委員会学校教育部教育課程担当課あて提出する。

11 参加申込期限

令和3年(2021年)7月30日(金) 必着

※チームのメンバー変更は、大会実施当日まで可能とする。

12 留意点

事務局から提供するフェイスシールドの着用、手指のアルコール消毒の実施など、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組を徹底すること。